

冬越し前の生物

■不活発な生物の様子

気温が下がり、生物の活動も少しずつ不活発になっている。コメツキガニ (Fig.1) やアシハラガニ (Fig.2) の姿は見られるが、数が少なく動きも活発ではない。全長4cm程度の小型のヒメハゼを採集した (Fig.3)。小型であるが、ヒメハゼの特徴である体側の黒色斑が観察できる。

先月と同じ場所 (レポートNo.233参照) で多数のホソウミニナ (Fig.4) を観察した。冬を越した後も、安定した生息数が保たれることを期待している。



(Fig.1 コメツキガニ 砂に紛れる見事な体色である)



(Fig.3 ヒメハゼ)



(Fig.2 アシハラガニ)



(Fig.4 ホソウミニナ)